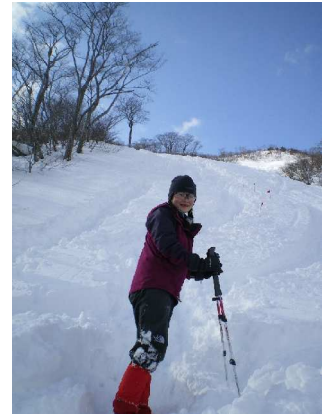


## 体験談レポート

ユーザー： A.Kさん(30代・女性) 東京都  
商品名： スパイルフィルソックス  
フラッドラッシュスキムメッシュソックス  
テスト日時： 2009年12月23日  
アクティビティ： 冬季登山(天神平, 谷川岳)  
テスト環境： 晴れ -1  
標高 1,319m  
当日のレイヤリング： フラッドラッシュスキムメッシュソックス、スパイルフィルアルパインソックス



～ほとんど冷えに悩まされることなく、冬のアクティビティを満喫できた～

信じられないような青空が広がっています！今日は「初めての雪山講習」に参加です。標高 1,319m の天神平(群馬県 谷川岳)は、腰まで沈むようなフッカフカの新雪。夏とはまったく印象が違う、一面の銀世界に大興奮です。

さて、一面の雪は溜息モノの世界ですが、ほとんどの女性にとって最大のネックが寒さ。私も、自他共に認める超(!)冷え性。フラッドラッシュスキムにドラウトセンサーを重ねて、しっかりと汗冷え対策をします。そして足元には、期待のフラッドラッシュスキムメッシュソックス+スパイルフィル アルパインソックスのレイヤリングです！普段はソックスの重ね履きをしないので、モタついたり、歩いているうちにズレたりしないのかちょっと心配でしたが、実際に履いてみると、モタつきもズレもゼロ。アングルアーチブレースの効果か、特に足首のホールド感は抜群です。履いてみた第一印象は「サポーターみたいなソックス！」で、捻挫癖のある私にとってこれはなかなか感動的。

10:00 いよいよ雪山講習のスタート。

深い雪の斜面をザクザク登っていきます。

ラッセルされたところに立っているのですが、雪に埋まっている感じはありませんが、足元はすっぽり雪に埋まっています。

気温は-1。足が雪に埋まったまま、2:00までのおよそ4時間。登り方、下り方の練習。アイゼンの脱着。そして最後は、腰まで雪に埋まってラッセルです。

もちろん、足の爪先は冷えて痺れた感じにはなるのですが、しばらくすると不思議なことに温かくなってきます。冷えても温まり、また冷えても温まる、この繰り返しです。履いているのはスリーシーズン用の軽登山靴。冬用ではありません。昨年、この軽登山靴で上高地と戦場ヶ原(栃木県日光市)でスノーシューをした際には、ほんの2~3時間でしたが、最初から最後まで足首から先が冷たく痺れっぱなし。感覚はゼロで、やっぱり冷え性には冬のアクティビティは無理なのかとなかば諦めていたのですが、これなら、冷え性の私でも冬のアクティビティを楽しめそうです。



さて、楽しかった講習も終わり温泉へ直行。

入浴施設に到着し軽登山靴を脱ぐと、スパイルフィルソックスの表面が「あれ!？」とびっくりするほど濡れています。汗をかいている感覚はまったくなかったのですが、どうやら足もかなり発汗していたようです。汗をかいた時のあの不快感をすっかり忘れていられたのは、間違いなくフラッドラッシュスキムメッシュソックスのお陰。そして、スパイルフィルソックスを脱いで確かめると、濡れているのは登山靴と接している表側だけで、内側はサラッと乾いています。

実は、天神平の前にも、雲取山(東京都)登山でフラッドラッシュスキムメッシュソックス+スパイルフィルソックスの効果を試しているのですが、着用感やはり、冷えても温まり、また冷えても温まるの繰り返し。ソックスの内側はサラッと乾いているので、山小屋に到着してから、濡れたソックスの表面をタオルでざっと拭いておしまい。後は下山するまでずっと履きっぱなしで、予備のソックスの出番がなかったくらいです。

今回、ほとんど冷えに悩まされることなく、冬のアクティビティを満喫できました。あまりの楽しさに、これなら雪遊びも大丈夫かも？と、冬山用の登山靴を衝動買いしました。次回は冬用登山靴で、ソックスレイヤリングの威力を試してみようと思います！

